

# ならはみらい

## 『3.11特別企画展 みちのうえ 一立ち止まる、振り返る。また 歩き出す。』開催

毎日が慌ただしく過ぎていく中で、この日だけは立ち止まり、過去を振り返り、また明日からの新たな一歩を踏み出せるようにしようというコンセプトのもと、檜葉の懐かしい写真や未来の誰かに宛てた手紙、みんなの寄り道に関する思い出などを集めた展示を行いました。



3.11特別企画展みちのうえ

### “ならはみらい”の最新情報を定期的にお届けします！

- P2 2023年度の取り組みを振り返って
- P3 地域×企業 立地企業親和会活動報告  
みらいスタッフが紹介！イマドキ“ならは事情”
- P4 ならは応援団活動報告  
最新情報をPick up!
- P5 ディープなひと。  
ならはみらいこんなことにチャレンジしてます！
- P6 Hot/Info/MIRAI Now/News/

### 一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。  
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

2023年度も、ならはみらいの取り組みに対してご協力や応援をいただき、ありがとうございます。みなさまに支えていただきながら、無事に創立9年目の年を終えることができました。

ならはみらいでは檜葉のまちづくり会社として、町民活動活性化事業や移住促進、施設運営など、8つの分野に分けて仕事を行っています。町民の方々がまちづくりに主体的に関わり、地元企業や町外の方々と有機的に結びつくことで、新たな化学反応が起き、ならはに暮らす人・関わる人が誇りを持ち続けられるまちになっていくことを目指しています。

昨年度は運営施設が新たに増えるなど変化の多い一年でしたが、今回はその中でも象徴的な6つのトピックを紹介します。

4月



まざらっせオープン

檜葉町地域活動拠点施設(愛称:まざらっせ)のオープンに伴い、管理運営を開始。新たな交流・サークル活動の拠点として、年間で延べ約5,000人の方々にご利用いただきました。

6月



ここなら笑店街300万人突破イベント

餅まきや屋台など各テナント毎にキャンペーン企画を行い、ここなら笑店街と普段利用しているお客様が交流し、さらなる認知度を向上させるイベントとなりました。

7月



CODOU周年記念イベント

CODOU/コドウI周年を記念してイベントを開催。CODOUを拠点として活動する企業や移住者の活躍を知っていただくために、1階交流ラウンジにブースを設け地域の皆様との交流を図りました。

8月



第2回ならは百年祭の開催

どこにいても、この日だけは檜葉に集まる。百年祭はみんなのお祭りにした。祭りに込めた想いを実現するために、地域の若手を中心となって企画・運営を行う「ならは百年祭をつくる会」が発足しました。ならはみらいは、大会の事務局を担い百年祭を応援します。

11月



立地企業親和会による地域を知るツアー

進出企業等から成る親和会の従業員の方々がサケ漁体験や天神岬でのBBQ交流会に参加しました。町外から通勤している方や単身赴任で働く方も多く、檜葉町の仕事以外の時間の使い方を知っていただきました。

12・1月



移住者カリキュラムの開催

地域住民と移住者の交流を目的とした「移住者向けカリキュラム」を4回開催。今年度は松館地区の皆様にご協力いただき、とり小屋づくり(12月)とお焚き上げ(1月)に参加させていただきました。

## 檜葉町立地企業親和会

組織紹介 南工業団地、北産業団地、竜田駅東地区、その他  
公共施設に入居する企業・団体の22社

檜葉町立地企業親和会とは、町内に立地する企業等が地域と良好な関係を構築し、各種まちづくり施策に積極的に関わることで、地域と企業がともに持続的な発展を目的とする協議体です。  
今回は2023年度の活動報告をさせていただきます。

今年度は会員数も増え、クリーンアップ作戦への参加や行政との意見交換会開催を継続実施した他、ならば百年祭でのベトナム料理のブース出展、従業員間交流と地域理解を目的にしたサケ漁体験&BBQの開催など、新たな取り組みを積極的に始めた1年となりました。



パインミーなどベトナム料理3品を出展

活動を進める中で、会の進む方向性も議論となり、先進事例地の視察も行うなど今後を見据えた活動も実施。

今年度からは他の組織とも連携を深めながら、雇用対策など企業にとって大きな課題となる部分にもアプローチを図っていく予定です。



築場でサケの手づかみを体験

これが イマドキ!

“ならば事情”

・ならばみらいスタッフが紹介!

### あなたの商品を全国へ! ふるさと納税返礼品に登録してみませんか

ふるさと納税の市場は年々拡大していて、令和4年度の市場は9,654億円にのびます。寄付への返礼品がフックとなって地域や事業者・生産者の認知拡大に繋がっていきます。ふるさと納税は自治体、事業者、生産者にとって究極のB2Cとも言え、地域商品のPRチャンスなんです!

とりあえず話を聞いてみたい!相談したい等、登録申請についてのご相談は、ならばみらいまでお問い合わせください。

#### 返礼品に登録する利点

- ①ふるさと納税の登録費用、掲載料は無料。
- ②ポータルサイトに掲載でき全国にPRできる。
- ③プロモーション費が無料。

※ふるさと納税返礼品登録には条件があり、自治体の審査が必要になります。



返礼品登録してみませんか?  
ご相談お問い合わせは、ならばみらい  
企画事業係までご連絡ください

### 空き家・空き地バンクのご紹介!

「空き家(空き地)があるんだけど、誰かに貸したい(売りたい)。どうしたらよいのかしら?」とお考えの方はいらっしゃいませんか?そんな時は、ならばみらいにご相談ください。

ならばみらいのHPには「空き家空き地バンク」のページがあります。こちらは檜葉町での生活再建のために行っている事業で、町内の空き家・空き地物件情報が掲載されています。また、このサイトは町民の方のみならず、これから檜葉町へ移住される方がお住まい探しのために利用されています。

掲載についてのご相談は移住促進係までお気軽にお問い合わせください!



一定の条件を条件を満たせば  
無料で空き家・空き地をホーム  
ページに掲載できます!





## 町外からのチカラで町を元気に!! ならは応援団 活動報告♪

ならは応援団の皆さんによる、今年度の活動を  
Pickupしてご紹介します♪

広島県出身・仙台在住の若宮紀章さんは、6年前から檜葉町で活動してくださっています。

こども支援のNPOの職員として東日本大震災発災の翌月から岩手・宮城の沿岸部に入り、復興のために汗を流していました。支援先の沿岸部が日常支援に移行すると、これまで足を運ぶ機会のなかった福島の沿岸部を自分の目で見て歩こうと、2018年に初めて双葉郡を訪れました。沿道から見えるフレコンバック、人の戻らない町を見て、まだまだ福島が前に進むには時間がかかると感じた経験が福島に関わるきっかけになっていきます。「たくさんの悲しい出来事があった東日本大震災。東北の問題だけではない。支援を地域の未来に繋げなくてはいけない」と当時を振り返ります。

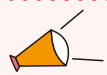
檜葉町での活動では、ならSUNフェス等の地域イベントに駆けつけてくださり、設営から、ならはみらい出店ブースでのポップコーン販売まで幅広くお手伝い頂いています。

現在、30年務めたこども支援のNPOを20年近くの準備を経てアーリーリタイアを実現。郡内の町が元気になるように、ささやかではあるが協力することで何かが変わればと、双葉郡に移住を決めました。

今後の活動に注目です!



右から2番目が若宮さん



**応援団員数**  
(令和6年3月1日時点)

団体登録 **20** 団体 個人登録 **278** 名

檜葉町に想いを持って下さる  
"ひと"のつながりを大切に。

## Pick up

開催!

町民と団体が心一つに交流!



ここなら笑店街テナント会と協働で豪華景品が当たる大抽選会や餅つき体験会、すいとんと白玉ぜんざいの振る舞い、ゲーム大会が行われる新春イベントを開催しました。様々な形で震災を乗り越えてきた方々、新たに住まわれた方々が共に歩む檜葉町。年の初めに笑ふるタウンで、町民、事業者等の皆さんが自発的に参加しやすい環境を作り、「心一つに」を目的に交流イベントを開催しています。

運営には、町内を拠点とする異なる分野の団体が集う、檜葉町活性化協議会の皆さんが精力的に参加。他にも、檜葉町女性の会、北田行政区など地域の力もお借りして開催しています。

福島・ならはの暮らしとクラフトマルシェ  
Produced by Creema

開催!



2月11日に「Creema/クリーム」協力のもと、クリエイターさんのオリジナリティが詰まったアイテムを販売するクラフトマルシェを浜通りで初開催いたしました。

当日はオープン前から100名ほどの行列ができたなど、会場のまぎらっせは終始多くのお客様で賑わっていました。

このクラフトマルシェは2泊3日の移住体験ツアーの中で開催され、町内視察はもちろんのこと、クリエイターさんたちは滞在中に町内で活動する藍染め会・わらじ組の皆さんとも交流。今後の移住を検討するために檜葉町のリアルな生活や活動内容について真剣にお話しを伺っていました。

## つながりの深い“ひと”をご紹介します! ディープなひと。

有機農業も  
やっています!

まつもと りかこ

松本 里香子さん

すいとん研究会会長  
檜葉町在住



学生へのすいとんの作り方レクチャーなどで協力をいただいていた松本里香子さんからお話を伺いました。

### 活動の楽しみは?

町内外のイベントでマミーすいとんを作ってきましたが、一番提供数が多いのが秋空散策あるこう会でした。

約800食を作るので、すいとん団子も2,500個くらい前日から仕込む必要がありました。仲間達と一緒にワイワイしながら作業するのが楽しみでした。

### やりがいとは?

実家がドライブインや会社寮の食堂をやっていたこともあり、調理など食に関することに携わってきました。そうした自分ができるお手伝いで、まちに貢献できることがやりがいにつながっています。



### 今後の目標は?

有機農法で米やゆずを栽培していることもあり、食育の場を後押ししたいです。健康づくりは栄養バランスの取れた食事だと思っていて、我が家でも薄い味付けや身体に良い食材、食事の摂り方など食生活を見直したところ、健康診断の数値がかなり改善

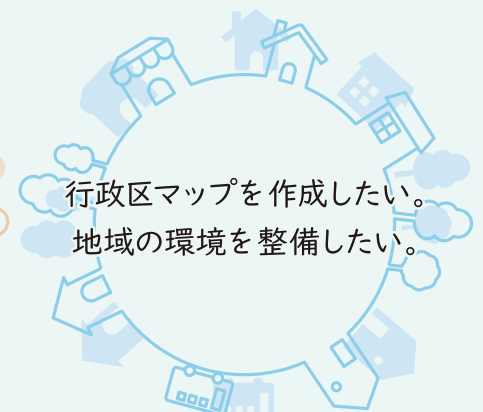
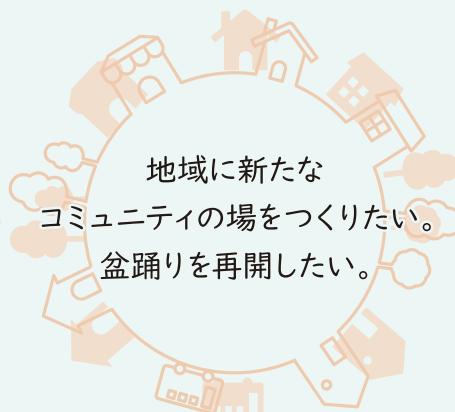
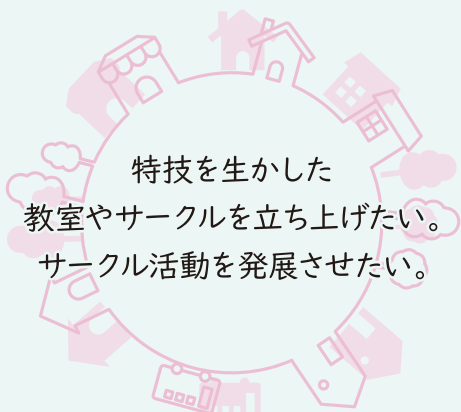
されました。

栄養摂取効率の良い食べ方や“食育”の必要性など、子どもから大人まで、みんなと一緒に学べる機会を作りたいです。



## 令和6年度 町民によるまちづくり・地域活動を支援します

豊かなまちにつながる継続性のある活動や事業を支援し、まちを想い、より良いまちとなるように自分の想いを実現する。そんな町のプレイヤーを応援します!



具体的な支援については、ならはみらいホームページ・広報誌等でお知らせいたします。

### ならは地域活動相談窓口

みんなの交流館ならはCANvas内 一般社団法人ならはみらい 企画事業係まで  
0240-23-6771

## Hot! 朝のメッセージが新しくなる!

毎朝8:25から、檜葉町内で放送されるラジオ体操。「ふるさと檜葉のために“なにかしたい!”と活動をする町民組織“なにかし隊”が発案し、避難指示が解除となった2015年9月5日よりスタートしました。町民の方はもちろん、檜葉町



で働く方々にも元気に過ごしてほしいという想いから、呼びかけメッセージと合わせて放送しています。2021年からは新小学1年生の皆さんの声を収録。今年もなにかし隊員5名が、あおぞらこども園にて収録をしました。

子どもたちの元気な声とラジオ体操で、心もからだも元気な1日をお過ごしください♪



## Info ハラスメント講習実施

全職員を対象にしたハラスメント対策の講習会を実施しました。接遇やコンプライアンスといった研修のひとつで、今回は講師から実際の事例や注意点などのレクチャーを受講。日頃から他者を傷つけない言動を行うための意識醸成を行いました。



## News 新たな仲間をご紹介!



渡邊 大河 (わたなべ たいが)  
#千葉県印西市出身  
#趣味はアニメ・ドラマ鑑賞

まだ移住したてで檜葉町について知らないことがたくさんありますので、様々な方との交流を通じてどんどん吸収していき町の発展につながる仕事をしていきたいと思えます。



蓬田 未涼 (よもぎた みすず)  
#大熊町出身  
#趣味は編み物・韓ドラ鑑賞

昨年インターンで檜葉町にお世話になりました。まだまだ未熟ですが、1日でも早く貢献できるよう日々一生懸命学び、ひとつでも多く檜葉町のことを知ってまいります。よろしくお願いいたします。

## MIRAI Now ならはみらいの動き

- 4月 1日 ●ならはみらい辞令交付
- 6月 …… ●ならはみらい理事会並びに臨時社員総会
- 6月 30日 ●ならはみらい設立10周年
- 夏 …… ●第3回ならは百年祭

毎月実施 檜葉町活性化協議会会議(第1水曜日)  
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

## 公式ホームページはこちら!



一般社団法人  
ならはみらい



ここなら笑店街



みんなの交流館  
ならはCANvas



トライナラハ  
(檜葉町移住情報)

その他、Facebook・Instagramもcheck!

発行者・問い合わせ先



## 一般社団法人ならはみらい

住所: 〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内  
電話:0240-23-6771 FAX:0240-23-6772

Mail:info@narahamirai.com Web:https://narahamirai.com